



平成 24 年 2 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成 23 年 12 月 29 日

上 場 会 社 名 株式会社タカキュー

上場取引所 東

コ ー ド 番 号 8166 URL <http://www.taka-q.com>

代 表 者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 臼井 一秀

問合せ先責任者 （役職名） 専務取締役管理本部長 （氏名） 木内 守 (TEL) 03 (5248) 4100

四半期報告書提出予定日 平成 24 年 1 月 4 日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 24 年 2 月期第 3 四半期の業績（平成 23 年 3 月 1 日～平成 23 年 11 月 30 日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
24 年 2 月期第 3 四半期	16,241 0.2	636 △10.1	770 △9.2	△111 —
23 年 2 月期第 3 四半期	16,203 △4.2	708 18.0	849 14.3	447 45.9

	1 株 当 たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24 年 2 月期第 3 四半期	△4.58	—
23 年 2 月期第 3 四半期	18.37	—

(2) 財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24 年 2 月期第 3 四半期	12,641	5,911	46.8	242.55
23 年 2 月期	11,578	6,119	52.9	251.05

(参考)自己資本 24 年 2 月期第 3 四半期 5,911 百万円 23 年 2 月期 6,119 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 2 月期	—	0.00	—	4.00	4.00
24 年 2 月期	—	0.00	—		
24 年 2 月期(予想)				2.00	2.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成 24 年 2 月期の業績予想（平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日）

(%表示は、通期は対前期)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株 当 たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	22,000 △0.3	700 △25.7	850 △24.5	△150 —	△6.15

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

（1）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（2）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年2月期3Q	24,470,822株	23年2月期	24,470,822株
24年2月期3Q	96,745株	23年2月期	95,750株
24年2月期3Q	24,374,659株	23年2月期3Q	24,377,180株

（※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示）

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

（※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第3四半期累計期間)	6
(第3四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	10
商品別売上高	10

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により低下した生産活動や個人消費が、復興需要等により改善の兆しが見られたものの、欧州の金融市場の混迷による経済の停滞、大幅な円高の長期化による企業収益の下振れ懸念、株価の低迷など依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当衣料品小売業界におきましては、震災直後は個人消費が急速に落ち込むなど厳しい状況でしたが、4月以降は復興需要および夏場の節電対策に応じた“クールビズ”商品が売上を牽引し、比較的順調に回復いたしました。秋冬商戦は、残暑の長期化や台風の影響により伸び悩みましたが、10月以降は気温の低下に伴い実需衣料の売上が持ち直し、天候の影響で一喜一憂ながら全体でみればやや低調な結果となりました。

このような中、当社は営業面ではメンズ業態の「TAKA:Q」および「MALE&CO.」の主力店舗で通勤着や就職活動用の品揃えをしたレディースコーナーを約40店舗で春物から立ち上げ、既存店のかさ上げを図ってまいりました。

商品面では、月度ごとにコーディネートされた商品企画により、ジャケットを中心としたカジュアル群（カシミア・ツイード・フラノ等高級素材、輸入服飾雑貨等）と綿100%のスーパー形態安定シャツが売上を牽引し、震災の影響と9月の落ち込みをクリアした結果、既存店売上高前年比は100.9%となりました。

店舗面では、「TAKA:Q」を5店舗、「MALE&CO.」を3店舗、「m.f.editorial」、「semanticdesign」を各々4店舗、「SHIRTS CODE」を1店舗、合計17店舗出店いたしました。一方、低効率店など8店舗を退店し、当第3四半期会計期間末では前年同期比8店舗増の270店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は162億4千1百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益は6億3千6百万円(同10.1%減)、経常利益は7億7千万円(同9.2%減)となりました。また、特別損失として資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額3億5千5百万円、災害による損失1億1千7百万円を計上したことなどにより、四半期純損失は1億1千1百万円(前年同期は4億4千7百万円の純利益)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、前事業年度末に対して10億6千3百万円増加し、126億4千1百万円となりました。主な要因は、流動資産では売掛金が6億2千4百万円、商品が10億5千9百万円それぞれ季節的要因により増加しましたが、現金及び預金で5億7百万円減少、また固定資産では有形固定資産が1億5千6百万円増加しましたが、投資その他の資産が1億8千9百万円減少したこと等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に対して12億7千万円増加し、67億2千9百万円となりました。主な要因は、流動負債では支払手形及び買掛金・電子記録債務が10億4千2百万円増加しましたが、未払法人税等が1億5千6百万円減少、また固定負債では資産除去債務を5億1千5百万円計上しましたが、長期借入金が2億9百万円減少したこと等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に対して2億7百万円減少し、59億1千1百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が2億9百万円減少したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末より5億7百万円減少し、24億8千3百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、5百万円の支出(前年同期比6億5千8百万円の支出減少)となりました。これは税引前四半期純利益2億6千6百万円、非資金的費用の減価償却費2億6千4百万円計上、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額3億5千5百万円の計上および仕入債務の増加10億4千2百万円による収入等と、売上債権の増加6億2千4百万円、たな卸資産の増加11億5百万円および法人税等の支払額4億6千3百万円の支出等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億8千1百万円の支出(前年同期比1億8千8百万円の支出増加)となりました。これは敷金及び保証金の回収による収入が2億8千1百万円ありましたが、新規出店等により有形固定資産の取得による支出2億5千9百万円、敷金及び保証金の差入による支出1億5千1百万円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億1千9百万円の支出(前年同期比1億1千5百万円の支出減少)となりました。これは長期借入金の返済による支出2億1千6百万円および配当金の支払額9千7百万円があったこと等によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当事業年度の業績予想につきましては、平成23年9月30日公表の数値から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

該当事項はありません。

②特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計基準等の改正に伴う変更)

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益がそれぞれ23,183千円減少し、税引前四半期純利益は379,101千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は487,711千円であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,483,651	2,991,485
売掛金	1,806,369	1,182,296
商品	3,326,968	2,267,868
貯蔵品	42,316	43,011
繰延税金資産	135,355	138,209
その他	198,313	220,608
流動資産合計	7,992,975	6,843,479
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	344,110	232,587
機械及び装置（純額）	3,648	4,981
器具及び備品（純額）	299,421	286,785
その他（純額）	37,231	3,276
有形固定資産合計	684,411	527,630
無形固定資産	44,793	98,511
投資その他の資産		
関係会社株式	206,339	203,137
賃貸不動産（純額）	4,262	5,602
差入保証金	422,015	485,619
敷金	3,346,274	3,436,949
繰延税金資産	87,440	144,742
その他	225,904	238,341
貸倒引当金	△372,849	△405,772
投資その他の資産合計	3,919,387	4,108,618
固定資産合計	4,648,591	4,734,761
資産合計	12,641,567	11,578,241
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,869,563	3,267,025
電子記録債務	2,439,928	—
短期借入金	282,140	289,140
未払法人税等	273,476	430,088
賞与引当金	18,521	100,139
店舗閉鎖損失引当金	—	42,790
災害損失引当金	1,000	—
その他	1,138,949	927,479
流動負債合計	6,023,579	5,056,663
固定負債		
長期借入金	14,450	224,305
退職給付引当金	20,189	20,189
資産除去債務	515,117	—
その他	156,237	157,787
固定負債合計	705,994	402,281
負債合計	6,729,573	5,458,944

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	568,428	568,428
利益剰余金	3,340,196	3,549,262
自己株式	△23,956	△23,815
株主資本合計	5,884,668	6,093,875
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,325	25,420
評価・換算差額等合計	27,325	25,420
純資産合計	5,911,993	6,119,296
負債純資産合計	12,641,567	11,578,241

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)
売上高	16,203,852	16,241,012
売上原価	6,190,534	6,264,790
売上総利益	10,013,318	9,976,222
販売費及び一般管理費	9,304,914	9,339,353
営業利益	708,403	636,869
営業外収益		
不動産賃貸料	335,406	278,918
その他	100,688	96,218
営業外収益合計	436,095	375,137
営業外費用		
不動産賃貸費用	235,640	206,107
その他	59,711	34,998
営業外費用合計	295,351	241,106
経常利益	849,147	770,900
特別利益		
貸倒引当金戻入額	45,576	33,509
転貸借契約解約益	10,700	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	1,762	8,022
その他	—	2,985
特別利益合計	58,039	44,518
特別損失		
前期損益修正損	24,032	—
減損損失	86,061	71,628
災害による損失	—	117,554
賃貸借契約解約損	14,790	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	355,918
その他	9,664	4,039
特別損失合計	134,548	549,140
税引前四半期純利益	772,638	266,277
法人税、住民税及び事業税	356,071	318,984
法人税等調整額	△31,177	58,858
法人税等合計	324,894	377,843
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	447,743	△111,565

(第3四半期会計期間)

(単位: 千円)

	前第3四半期会計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)	当第3四半期会計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日)
売上高	5,892,024	5,944,600
売上原価	2,119,076	2,160,997
売上総利益	3,772,947	3,783,602
販売費及び一般管理費	3,185,897	3,234,251
営業利益	587,050	549,351
営業外収益		
不動産賃貸料	109,599	92,883
その他	32,418	31,395
営業外収益合計	142,018	124,278
営業外費用		
不動産賃貸費用	74,919	66,965
その他	14,874	11,221
営業外費用合計	89,794	78,187
経常利益	639,274	595,443
特別利益		
貸倒引当金戻入額	17,735	7,908
特別利益合計	17,735	7,908
特別損失		
減損損失	—	16,870
賃貸借契約解約損	2,276	—
その他	—	5,706
特別損失合計	2,276	22,576
税引前四半期純利益	654,732	580,774
法人税、住民税及び事業税	299,059	260,546
法人税等調整額	△40,317	1,236
法人税等合計	258,742	261,782
四半期純利益	395,990	318,992

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	772,638	266,277
減価償却費	248,114	264,341
減損損失	86,061	71,628
災害損失	—	116,554
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△29,959	△32,922
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△83,472	△81,618
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△4,467	△16,935
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	—	1,000
賃貸借契約解約損	14,790	—
有形固定資産除却損	12,539	8,479
受取利息及び受取配当金	△8,212	△6,090
支払利息	10,362	5,486
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	355,918
売上債権の増減額 (△は増加)	△644,436	△624,073
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△550,598	△1,105,868
仕入債務の増減額 (△は減少)	△297,119	1,042,466
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△154,418	△21,030
その他	296,831	277,147
小計	△331,346	520,760
法人税等の支払額	△332,720	△463,457
災害損失の支払額	—	△63,237
営業活動によるキャッシュ・フロー	△664,067	△5,934
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△98,985	△259,088
無形固定資産の取得による支出	△4,855	△5,670
無形固定資産の売却による収入	—	144
貸付けによる支出	—	△6,400
貸付金の回収による収入	5,000	6,240
出資金の回収による収入	—	80
敷金及び保証金の差入による支出	△91,300	△151,745
敷金及び保証金の回収による収入	200,489	281,527
資産除去債務の履行による支出	—	△15,200
その他の資産取得による支出	△7,205	△36,438
長期預り保証金の返還による支出	△21,087	△1,550
長期預り保証金の受入による収入	16,040	—
利息及び配当金の受取額	8,530	6,172
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,626	△181,930

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	200,000
短期借入金の返済による支出	—	△200,000
長期借入金の返済による支出	△351,277	△216,855
自己株式の増減額 (△は増加)	△556	△141
利息の支払額	△10,545	△5,719
配当金の支払額	△73,226	△97,253
財務活動によるキャッシュ・フロー	△435,605	△319,969
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,093,045	△507,834
現金及び現金同等物の期首残高	3,429,470	2,991,485
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,336,424	2,483,651

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

商品別売上高

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)		前事業年度 (自 平成22年3月1日 至 平成23年2月28日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
重衣料	6,164,470	38.1	5,853,715	36.0	8,253,481	37.4
中衣料	1,021,836	6.3	1,032,087	6.4	1,990,769	9.0
軽衣料	8,512,603	52.5	8,816,278	54.3	11,105,921	50.3
その他衣料等	504,941	3.1	538,931	3.3	721,978	3.3
合計	16,203,852	100.0	16,241,012	100.0	22,072,149	100.0

(注) 1. その他衣料等はスカート、ワンピースのほか、クレジットカード会員獲得に伴う手数料収入、衣料品の修理・加工に伴う収入等であります。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。